

(対象期間：2018/8/13～8/17)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移**  
(2016年1月4日～2018年8月16日)

**【株式市場】**

トルコリラの下落を背景とした投資家心理の悪化や、前週末に発表された4-6月のインドネシアの経常収支の赤字幅が拡大したことを受けて、株式市場は週初から大きく下落しました。その後も目立った反発が見られず、7月の貿易赤字額が事前予想を上回ったことなども背景に週末まで軟調な展開が続きました。セクター別では農業が上昇した一方で、鉱業、金融、建設・不動産などが下落しました。

2018/8/10	2018/8/16	変化率
6,077.17	5,783.80	-4.83%

\*17日は株式・債券市場が休場。

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移**  
(2016年1月1日～2018年8月16日)

**【債券市場】**

週初はトルコリラの下落を背景とした投資家心理の悪化や、前週末に発表された4-6月のインドネシアの経常収支の赤字幅が拡大したことを受けて10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。水曜日にはインドネシア中央銀行は事前予想に反して25bpsの利上げを行いました。市場の反応は限定的となり、その後も目立った買戻しが見られず週末を迎えました。

2018/8/10	2018/8/16	変化幅
7.695	7.981	+0.286

\*17日は株式・債券市場が休場。

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移**  
(2016年1月1日～2018年8月17日)

**【為替市場】**

週初はトルコリラの下落を背景とした投資家心理の悪化などから、ルピアは下落しました。週前半にインドネシア政府はルピア下落を阻止するために資本財や消費財の輸入を制限する方針を示しました。また水曜日にはインドネシア中央銀行が事前予想に反して25bpsの利上げを行いました。市場の反応は限定的となり、ルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。

2018/8/10	2018/8/17	変化率
0.765	0.756	-1.25%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国プルデンシャルグループ

180820 (02)